

# 8<sup>th</sup> FEFCO

Forest Ecosystem Function Colloquium (FEFCO) は、地域や地球全体のレベルで森林生態系の機能とその持続的活用法を統合的に理解することを目的とし、研究者間の学術交流を推進します。

定例会として第8回森林生態系機能コロキウム (FEFCO)を開催します。どなたでも参加できます。フィールド科学教育研究センター森林育成学研究室がホストを務めます。

## 8<sup>th</sup> FEFCO

2014/6/19 16:00 - 17:30

Faculty of Agriculture Main Building, S174

### 定例会

徳地直子・伊勢武史

(フィールド科学教育研究センター・森林育成学研究室)

#### 1. 徳地直子

フィールド科学教育  
研究センター森林  
フィールドの紹介

京都大学フィールド科学教育研究センターは海と森と里に施設をもち、森では北海道・京都（芦生）・和歌山の3つの研究林と京都本部・上賀茂・徳山の3つの試験地がある。ここでは、それぞれの研究林・試験地を簡単に紹介する。

#### 2. 伊勢武史

生態系のダイナミク  
スをシミュレーショ  
ンで解き明かす

生態系をシミュレーションで再現することで、従来の手法では解明がむずかしかったさまざまなメカニズムを分析し、将来予測や政策決定に役立てることが可能となる。さらにシミュレーションモデルは、断片的に蓄積されている観測データを統合した知見を得るためのデータ同化のプラットフォームともなる。この発表では特に、土壌の炭素循環および森林のダイナミクスに関する研究を紹介し、今後の応用の可能性について検討する。土壌有機炭素に関するケーススタディとしては、亜寒帯に多くみられる泥炭地の物理過程と物質循環過程を統合的にシミュレーションすることによって新たに存在の可能性が示された強い正のフィードバックの生じるメカニズムについて解説する。森林のダイナミクスに関する研究例としては、日本の生態系におよぼす地球温暖化の影響の将来予測と、それに対処するためのマネジメント方針の提案の事例を扱う。